

太陽光発電で削減したCO2を収益に！ 脱炭素推進協会設立のご案内

株式会社長谷川電気工業所は、**太陽光発電**によるCO2削減量をJクレジット化するサービスを提供する**脱炭素推進協会**を設立しました。

当協会は、会員企業の太陽光発電設備によるCO2削減量をまとめて、クレジットの創出から売却までを代行し、その収益を還元いたします。

クレジットの創出は手続きが複雑で経費もかかるため、大量のクレジットを創出して売却しないと採算がとれません。このため、多くの中小企業では太陽光発電設備で削減したCO2のクレジット化によるメリットを享受できていないのが現状です。

脱炭素推進協会は、会員企業各社の**太陽光発電**設備によるCO2削減量をまとめてクレジットを創出し、売却を行います。収益は事務費用を引いた後、CO2削減量に応じて各社に還元いたします。気候変動対策に取り組んでおられる皆様の更なる脱炭素化活動に活用していただければと存じます。



Jクレジット制度とは

Jクレジット制度は、日本国内で削減または吸収された温室効果ガスの量を、国が認証する仕組みです。

この制度により、企業が削減したCO2が「クレジット」として認定され、自社が利用しない削減量を売却して収入を得たり、足りない削減量を外部から調達したりすることができます。

Jクレジット制度のしくみ（Jクレジット事務局HPより）

ご興味のある方は、こちらからお気軽にお問い合わせください。→



<< 長谷川電気工業所本社が新しくなります >>

弊社では、4月から本社新館の建物内部のリニューアルを行っています。2年前の夏、新潟県村上市は集中豪雨にみまわれ、河川が氾濫し甚大な被害を受けました。弊社も約30センチの床上浸水になり、復旧には大変苦勞しました。今回の改修工事ではこの経験から学んだことを活かし、いくつかの工夫をしています。

「水害を完全に防ぐことはできないので、**水害に遭った際の被害をなるべく少なくする**」という考え方で建築、設備の設計を行いました。具体策として、床下をコンクリートで埋めて水が入らなくする、コンセント、空調の室外機などを従来よりも高い位置に配置する、サーバーや太陽光発電の制御機器、蓄電池などは3階に設置する、などです。



床上浸水でも電気回路が水没しないように
コンセント・ケーブルなどを高い位置に



室外機は架台を組んで持ち上げる

また、コロナもあり、オンラインの会議や打合せが多くなってきた為、会議室やミーティングルームの数を増やしました。3階にはフリースペースや休憩室を設け、社員が快適に過ごせるような空間を作りました。社員からは「コミュニケーションがとりやすくなるので、業務の効率化につなげていきたい」「新しい環境の中で、心機一転頑張りたい」と前向きな言葉が多く、今回の改修工事が社員の意識にも良い影響を与えているようです。

6月現在、改修工事は多くの業者様のご協力により順調に進んでおり、新しくなった建物は、7月から使用開始となる予定です。工事関係者の皆様に感謝いたします。



オンライン会議用スペース



新館の外観

新館改修工事 現場担当より

より快適な職場づくりに担当者として参加させてもらい、感謝しております。今回の工事では、水害の経験を生かし、BCPとしての様々な対策を行いました。完成後の社員が喜んでくれている姿を想像しつつ、安全に工事を進めています。

<< 第66回 地域貢献活動 >>

4月に、いつもお世話になっている地域への貢献活動として、会社周辺のゴミ拾いと側溝の清掃を行いました。

この地域貢献活動は年3回実施しており、今回で66回目の活動となります。本社だけでなく、新潟市や東京都などの各拠点でも行っております。

今回本社では、会社から保内小学校までの清掃を行いました。活動中に地域の方々とあいさつや会話を交わす場面もあり、みなさんの温かさを感じました。

回収したごみは環境へ配慮し、適切に分別し処分を行いました。

この活動は、地域の方々へのご恩返しとともに、私たち自身の環境意識の向上につながる良い機会になっていると感じました。私たちがいつもお世話になっている地域が、これからも安全で綺麗に保たれるよう、今後も活動が続けていきたいと思っております。



側溝清掃の様子



地域貢献活動の様子

<< 再エネ100%電力に！ >> 東北電力「ecoでんきプレミアム」への切り替え

長谷川電気工業所は、持続可能な未来に向けて積極的な取り組みを継続しています。かつては、再生可能エネルギー100%のアスエネ電気（新電力）を採用し、CO2排出量をゼロにすることで気候危機対策に貢献してきました。しかしながら、アスエネ電気が2021年11月に電力供給事業から撤退したため、当社はしばらくの間、東北電力の一般的な従量電灯プラン（CO2排出のあるプラン）を利用していました。

この度改めて、2023年11月からは東北電力の「ecoでんきプレミアム」というCO2フリーの電力に切り替え、さらなるCO2排出ゼロへの取り組みを行っています。

「ecoでんきプレミアム」とは、東北電力が提供する電力プランで、通常の電気料金にCO2フリーの価値（CO2排出量がゼロ）に相当する料金を上乗せして支払うことで、再生可能エネルギー源から得られる電力を利用できるプランです。具体的には、東北電力の水力発電所や地熱発電所などからの電気を利用しています。

長谷川電気工業所は、今後もCO2排出の削減など、地球環境への貢献を継続していきます。

再エネ100宣言
RE Action

長谷川電気工業所では「RE Action」に加入し、再エネ100%を目指しております。

★★ 私募債の発行 荒川中学校への寄贈 ★★

2024年1月、株式会社長谷川電気工業所は私募債を発行し、第四北越銀行に「みらい応援私募債」として受託していただきました。その手数料の一部を活用して、村上市立荒川中学校へ生徒が授業で使用するタブレットの充電器を寄贈しました。

2月22日に第四北越銀行の坂町支店渡辺支店長と株式会社長谷川電気工業所の長谷川社長が贈呈式に参加し、荒川中学校の渡辺校長に寄贈品を贈呈させていただきました。

寄贈品を何にするか学校に相談しましたところ、タブレットの充電装置のご希望を頂きました。毎日授業でタブレットを使用するそうですが、自宅で充電してくるのを忘れる生徒さんもおられ、学校にも充電器は無くてはならないそうです。

次代を担う子どもたちですから、IT機器も大いに活用し、学びを深めて欲しいと思います。



左から 渡辺校長 渡部支店長 長谷川社長



★★ 新入社員紹介 ★★

この度入社いたしました新しい仲間を紹介いたします。



名前 波多野 裕人
入社日 2024年5月21日
配属 工事事業部 本社
出身地 長岡市

好物 ラーメン
趣味 国内旅行・食べ歩き・映画鑑賞
抱負 建設業界に従事してきた経験を生かし、一日でも早く戦力になれるようがんばります。

各種コンテンツはこちらから！



省エネ・創エネ.com
Produced by Hasegawa Electric Industries.
<https://www.sc-energy.com/>
毎月第1, 2, 4月曜 8時 更新予定



メールマガジン

<https://bit.ly/3YoVNIo>
毎月第1～4火曜8時 送信予定



～迅速・丁寧な対応で安心をお届けします～



本社 〒959-3132 新潟県村上市坂町1760番地1 TEL:0254-62-3161
新潟支店 〒950-0915 新潟県新潟市中央区鏡西2丁目1番1号 TEL:025-243-9561
東京支店 〒124-0012 東京都葛飾区立石8丁目1-4 ネクスス立石1階 TEL:03-6662-8820